

り組みを強化します。

次に、教育の充実に取り組みます。将来の地域を担う人材を育成するため、特に学力向上と体力増進に取り組みでまいります。また小学校の児童の減少により小規模校で複式学級が常態化しており、今後も児童数の減少は続く見込みであるため、住民の理解を得ながら適正規模による教育環境の提供が出来るよう統廃合に取り組みでいきたいと考えております。地元小野高校の対策ですが、少子化の影響などで定員割れが続いております、今般設立いたしました小野高校について考える連携協議会での議論をもってその支援を実施してまいります。

次に、住民の利便性向上と交流人口拡大のため、公共施設の整備



「こどもの笑顔ひろば」を訪問する
内堀知事と町長

や小野インターチェンジ周辺の整備を図ってまいります。温浴施設

や保健センター、役場庁舎などに つきましては、小野町公共施設等整備検討委員会からの提言もあり整備が必要と考えております。また小野町は磐越自動車道やあぶくま高原道路の交差点にあり、小野インターチェンジは極めて優れた地域資源であると認識しております、平成29年度にはその活用可能性について町民とともに検討していく考えであります。さらに、県道吉間田・滝根線の整備も計画されるなど、浜通りの復興の玄関口になるものと期待しており、当該施設の必要性・重要性はますます高まっていくと考えております。

次に、農業・商業・工業などの産業のバランスの取れた振興を図ってまいります。農業は稼ぐことのできる農業を目指し、若者にも魅力ある職業としてPRしてまいりますと考えています。また農地基盤の整備を推進し、作業の効率化や農地荒廃の予防を図ってまいります。商業については、商店街の活性化や後継者育成のため東邦銀行との協定に基づき次世代創業塾の開催など、今後も引き続き後継者の育成や新規創業の支援を行

い商店街の発展を支援します。

次に、安全な地域づくりを図ってまいります。道路などの整備はもちろん、公営住宅の計画的な改修を実施し、生活に必要な設備の整備を進めます。また交通弱者支援のため「おの町えがおタクシー」によるタクシー料金助成事業を実施してまいります。昨年2カ月試行を行い実施の見通しが立ったため本格実施するものです。防犯カメラの設置や災害などでのドローンの活用も予定しております。またペットと飼い主との関わり方の多様性に対応するペット火葬場の整備など生活環境も含め安全で安心して生活できる住環境の整備に努めます。

二期目のスタートに際し所信の一端を申し述べましたが、私は、小野町に住む人たちが「住んでいてよかった」「これからも住みたい」と笑顔で言っていた「幸せを実感できる」まちにしていきたい。それを実現するためから4年間、誠心誠意頑張りますので、よろしくお願ひいたします。

結びに町民の皆さまのご健勝とご多幸を祈念申し上げ、就任のあいさついたします。

小野町長選挙結果

任期満了に伴う小野町長選挙は3月7日に告示され、無所属で現職の大和田昭氏のほかに立候補の届け出がなかったため、無投票で当選が決定しました。

当選証書付与式が3月13日、議場で行われ、村上信一選挙管理委員会委員長から当選証書が付与されました。

町長の任期は3月23日から4年間となります。



当選証書付与式の様子